

田付たつ子 びんが 隨筆家。明治二十二年八月十五日東京生れ、昭和三十三年九月十八日没（八十九歳）。本名辰子。筆名村田美都子。ソルボンヌ大學生。外務省情報文化局勤務。吉田茂首相在任中の外遊に通譯隨員。松方コレクション返還に盡力した他、日佛文化交流に意を注ぎ、パリ市より名誉市民（メダル受領者）の稱を贈られ、生前病床に敍勳（勳五等實冠章）を受けた。

著書に『パリの蝿』（昭和二十年七月十五日読売新聞社）、爾後、大日本雄弁会講談社「ミリオンのブックス」版で『パリの蝿（いしだま）』（昭和二十一年八月二十五日刊）、『パリの雀（モア）』（昭和二十一年十一月二十五日刊）、『パリの俄雨（ジゴ）』（昭和二十二年六月二十五日刊）、『パリの残雪』（昭和二十二年十一月二十五日刊）。他に『ライオンのわがぬ』（和田義三絵、昭和二十六年四月十九日新潮社「世界の絵本・中型版」）等の児童書がある。

